

信栄開発株式会社 -せんねんの木-



[創業年] 2007年(平成19年)

[売場面積] 154.0㎡(46.6坪)

[事業従事者数] 16.2人

[営業時間] 10:00~18:00

※本店支店別

[定休日] 月曜日 ※本店支店別



[商品構成]

- ・とろなまバウムクーヘン 55.0%
- ・ギフト用バウムクーヘン 18.0%
- ・焼き印バウムクーヘン 10.0%
- ・その他 17.0%

[店舗所在地] 千葉県木更津市永井作 1-11-11

[URL・SNS] <https://www.sennennoki.com>

[経営理念]

せんねんの木は「驚き」と「喜び」を顧客提供価値とし、スイーツやハイブリッドスイーツの力で地域貢献を目指していくブランドを目指す！

「とろなま」でバウムクーヘンの新たな境地へ

【お店の概要】

2011年に千葉県に開店したバウムクーヘン専門店。現在、木更津市に2店舗、富津市に製造工場と食事ができる直販店を展開する。

生地を何層にも重ねて焼き上げるバウムクーヘンだが、同社はバウムクーヘンの生地にチョコレートムースを組み合わせた“ハイブリッド”感覚の「とろなまバウムクーヘン」も製造・販売している。

2022年のバウムクーヘンのファンなどが参加して行われた「ファイナルクーヘン総選挙」で全国52のトップに輝いた実績を誇る。



富津市に作った工場兼直営店は、廃校になった小学校を利用。2階に製造工場を設け、1階が直営店だが、別会社で代表の妻が経営するドックランが併設されている。



店内には色とりどりのバウムクーヘンが並ぶ



地元千葉の MAX コーヒーとコラボしたバウムクーヘン

【お店の経営ノウハウ】

人気の「とろなまバウムクーヘン」は、チョコレートムースのほか、ブルーベリーを使った季節商品のほか、4種のベリー、ブリュレ、ティラミス、チョコミントなどさまざまな種類の「とろなま」を商品化している。

フォロワー数が圧倒的に多いインフルエンサーに依頼し、Instagram、Line を使った情報発信を展開する。見た目インパクトのある“ばえる”商品を打ち出している。

また若い世代とのコラボレーションでは、千葉県市川市にある和洋女子大学国際学科の学園祭の2日間のみ限定販売する「とろなまバウムクーヘン」を企画。製造だけでなく、SNS を駆使してどのように認知し、広めるかなど同社の経験を大学生に伝授し、広報宣伝にまで踏み込んだ上で企画を実施した。

製造工場に併設したドックランの経験から、ペット向けの食材への展開など、さまざまな異形分野への展開を計画している。



とろなまシリーズはチョコ・ベリーの他、いろいろな味が楽しめる